

## 校長室から 22 「ブランド・ハップンスタンス」を引き寄せる

～ 第53回卒業式 ～

3月5日（金）、今年の卒業式も昨年に引き続き新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、生徒と教職員だけで、時間短縮を図った上での実施となりました。参加いただくことができなかった保護者や多くの在校生たちの気持ちを代表して、卒業生にお祝いの言葉を述べさせていただきました。



### 卒業生におくることば（校長あいさつ）

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。

皆さんが、光陵高校で過ごした3年間を、改めて思い起こしてみてください。特に最後の1年間、想定外の出来事が次々とあり、不安に捕らわれていた時期もあったことと思います。しかし、その中であっても、皆さんは自分のできることは何か、自分のしたいことは何か、そのためにはどうしたらよいのかを自分で考え、必要なサポートを求め、対処していく力を身につけてきたと思います。周りの人に支えられながら、自分の力を信じ、一生懸命取り組んできたこと、これらはすべて皆さんの力となり、自信となり、生涯にわたって皆さんを支えてくれることでしょう。

これまで、皆さんは、目標を掲げ、それを実現させるために、努力を重ねてきました。その成果として、光陵高校に入学し、3年間の高校生活を終え、今まさに、次のステップへと羽ばたこうとしています。高い目標を掲げ、それに向かってあらゆる努力をすること、これはとても、とても重要なことです。

しかし一方で、これから皆さんが生きていく社会、予測不可能な世界では、自分の努力とは関係なく、想定外のこと、いいことも悪いことも、起きてくるでしょう。このような時代、このような社会を生きていくためには何が必要でしょうか。

本日、卒業式を迎えるにあたり、私から皆さんへのメッセージとして、「ブランド・ハップンスタンス」という言葉を紹介したいと思います。「ブランド・ハップンスタンス」、日本語に直すと、「計画された偶然」となります。「計画された偶然」、矛盾していますね。

これはスタンフォード大学のクランボルト教授が提唱したことばです。人は人生の後半に、自分の人生を振り返ったとき、自分が思い描いていたとおりに歩んできたことも、もちろんありますが、細かい経緯を見ていくと、実はそれ以上に偶発的な出来事によって、人生が構成されていることに気付くというものです。確かに、あの時、あのことがあったから、あの人に出会ったから、そのことによって目指す道が変わった、そのことによって私の人生が大きく変わった、ということが誰にでもあるのではないのでしょうか。私にももちろんありますし、皆さんの約18年の

人生の中にも数多くあるのではないかと思います。それらは、後になって思えば、「ブランド・ハップンスタンス」というわけです。

ただし、仮に、人生の多くが偶然の積み重ねだとしても、偶然の出来事を、ただ待っていたのでは、「ブランド・ハップンスタンス」にはなりません。「ブランド・ハップンスタンス」を得るには、自分の好きなこと、慣れ親しんだことだけで完結することなく、むしろ新しいこと、知らない分野に目を向け、普段から自分のアンテナの感度を高め、視野を広げる努力をしておく必要があるでしょう。困難や失敗を恐れず、自分の可能性を信じてチャレンジすること、固定観念やこだわりにとらわれず、その時々状況に応じて、柔軟に考えることも大切でしょう。長い人生のうちには、いいことばかりではなく、時につらいこと、しんどいこともあるかもしれません。しかし、そのこと自体は変えられなくても、それをどうとらえるか、そしてどう生きていくのかは、あなた次第です。

「ブランド・ハップンスタンス」、偶然の出来事、偶然の出会いにただ黙って身を委ねるのではなく、時にそれを自分から引き寄せ、時にそれを自分の人生にどう生かしていくかを考えながら行動してほしいと思います。

光陵高校で学んだ3年間に、自信と誇りを持って、「心やさしき社会のリーダー」として、幸せな人生を歩んでいってください。

卒業、おめでとう。